

	項目	検討事項	H28	H29	H30～
規格の標準化 要素技術の一般化	生産性を高める技術・工法の普及等	1. 新技術の導入 ・機械式定着工法 ・機械式継手工法 ・流動性を高めたコンクリート	規格の標準化	運用開始 フォローアップ	土木構造物設計ガイドラインの改定
		2. 現場作業の屋内作業化 ・鉄筋プレハブ化 ・埋設型枠	課題抽出	設計・施工時の留意事項の明確化 資料3	運用開始 フォローアップ
	品質規定の見直し	3. スランプ規定の見直し	規格の標準化	運用開始 フォローアップ	
	部材の仕様の標準化 サプライチェーンマネジメントにも通じた検討	4. 部材の仕様の標準化	検討事項の抽出	市場調査手法の検討	部材の標準化
		5. 大型構造物への適用	検討事項の抽出	検討開始	継ぎ手の性能評価の明確化
全体最適	全体最適を図る方法の導入	生産性向上に資する技術・工法の導入を促す 6. 入札・契約方式の検討	検討事項の抽出	運用開始	フォローアップ
		経済性以外の効果を評価する 7. 設計手法の検討	比較項目の明確化 (コスト積上げ可) 課題の抽出 (コスト換算困難)	運用開始 フォローアップ 検討事項の抽出	積算方法の検討 評価指標の明確化
	SM	サプライチェーンマネジメント(SM)の導入 施工現場の待ち時間ロス等の解消に向けた、生コンクリートやプレキャスト工場での取組みの検討	8. 生コン情報の電子化	課題抽出	プレ試行の実施 資料5
9. PCa工場の型枠の転用			課題抽出	他分野事例検証	検討事項の抽出

() 上記の他、土木学会からの生産性向上に関する提案について順次対応